

山形県の古木・名木 No.75

# 土湯杉の群生地 (つちゆすぎのぐんせいち)

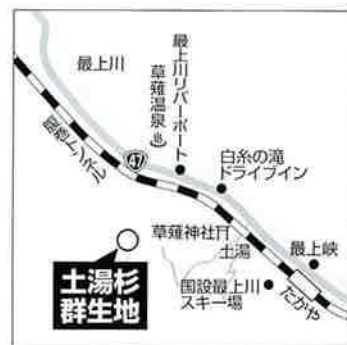
最上郡戸沢村

土湯杉は、最上峡谷地帯に自生する杉で、別名神代杉、仙人杉、山ノ内杉と呼ばれ、樹形はタコ足状に分岐し杉とは思われない特異な形状をしている。

国道47号線を起点とする国有林道土湯線を2.5km入ったところに約1haの比較的平坦な所があり、ここが土湯杉の絶好の観察地となっている。

杉とは思われない特異な形状をした老木が多数あり、その脇には実生で育った通直の若木が生育しており、なぜこのような特異な形状になったのか、その理由は解き明かされていない。  
〔山形県森林協会〕

(案内略図)



【森林やまがた100号(2005年11月)記載】